

# 池田町の財政を考える (第一回)

## 町のおさいふ 歳入と歳出



町の財政は私たちの  
暮らしに直結

池田町の予算・決算など、財政についての情報はときどき町の広報誌「広報いけだ」に載っています。でも、たいていは、読み過ぎることが多いものです。

しかし、町の予算・決算は私たち住民の生活に直結するものばかりですし、何より私たちの税金が元手のひとつですから、少し詳しく見ておくことも必要です。

今回は、町のお財布の中身(財政の用語では「歳入」と「歳出」)について考えてみます。

### 松川村と比べてみる

下のグラフは池田町と松川村の歳入・歳出です。

1997年度から2017年度までの間の8年分を取り出し

て比較しています。ずいぶん変化があることがわかりますね。

比べてみて、一番大きな特徴は何でしょう。05年度から10年度まではドングリの背比べのようだった財政が、11年度になつて急に変わっていますね。池田町と松川村の差が10億円も開いていて驚きます。

15年度にはちよつと差が縮まりますが、また大きく開いていきます。

### 松川村の財政がスリムになったワケ

なぜこんなことが起つているのか不思議ですが、決算書でその原因をさぐってみると、様子が少しずつ分かってきます。

皆さんは、松川村の道の駅「寄つて停まつかわ」や温泉施設「すずむし荘」をご存じですね。

この施設は、2010年度までは松川村の直営で、そこで必要な資金や収入はすべて町の会計でやっていました。これを含めての歳入・歳出だったというわけです。

松川村は、2011年度からこれらの施設を指定管理制度に移して一般財政から切り離しました。これが規模縮小の最も大きな要因です。その他、水工場建設のための

補助金や、多目的文化施設のための基金取り崩しなどで前年度まで池田町を上回るほどの財政規模が、この年を境に一挙に少なくなったのです。

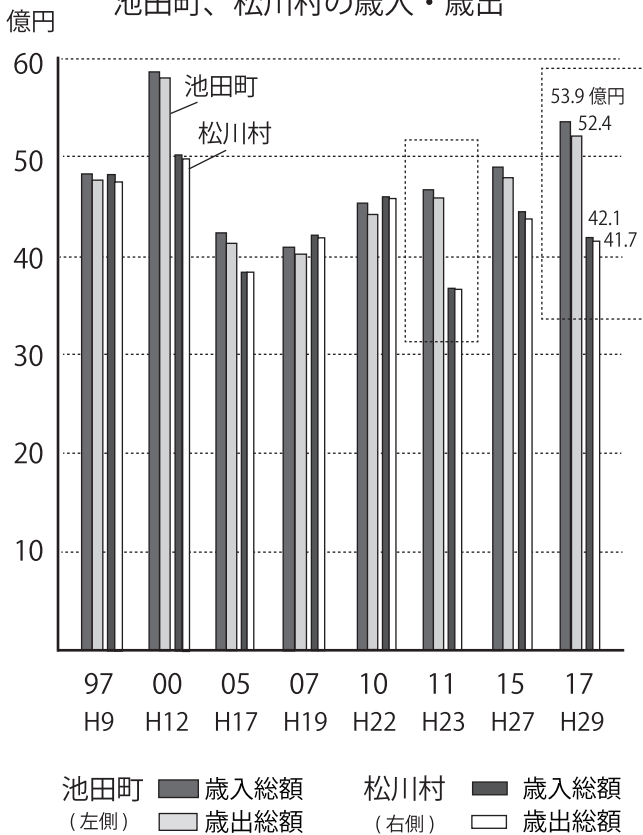
### 大型事業でふくらむ 池田町の財政

一方、池田町の方はというと、皆さんご存じのように、地域交流センターを中心とした大型の公共事業が2015年度から始

まり、国の補助金で歳入が膨らみ、その工事費で歳出が大きくなったのです。借金もたくさんしたために、これからその返済がのしかかり、池田町の財政は松川村とは対照的に、とても苦しくなることが予想されます。

このような財政の現状で、これから住民の暮らしや福祉が守られるのか、注目していくことが必要ですね。

池田町、松川村の歳入・歳出



単純に財政の規模だけで、問題がわかるわけではありませんが、町のお財布のあり方に関心を持つことがとても大事だということはお分かっていただけたと思います。

次回は、町の借金の状況について調べてみます。

(文責 村端 浩)